

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 22231

区分	補助金・交付金	担当課	環境課	作成日	H24.5.21
事業名	坂本区衛生プラント対策委員会補助金	開始年度	昭和61年	予算科目	4.2.3.2.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第2部 安全で安心して暮らせるまちづくり	章	第2章 総合的な環境対策
節	第2節 廃棄物対策と資源リサイクルの推進	基本施策	3 効率的なし尿処理
取組みの基本方向	(1)収集量の減少を踏まえた効率的なし尿処理		
根拠法令等			
目的 (誰・何を対象に、何のために)	坂本地区に衛生プラントを建設するにあたり、いわゆる迷惑施設でもあったが、坂本区としては愛川町民が健康的、衛生的な生活を営む上で必須の施設であることを理解し、区内の地域振興対策、産業振興対策、社会教育施設整備対策、老人福祉対策、交通安全対策を町が進めることを条件に、町政に協力することを承諾し、昭和57年12月6日に町議会議長を立会人として、町と坂本区の間には「衛生プラント設置に関する念書」を取り交わした。 坂本区衛生プラント対策委員会補助金は、地域振興対策の中の一つであり、町が費用を負担しているものである。		
内容・方法 (何を行っているのか)	坂本区衛生プラント対策委員会において、衛生プラントの運転維持管理状況の把握や話し合いが行われることにより、町との間に相互信頼と良好な関係が保たれ、区内の良好な環境保全と順調な施設稼働が保たれている。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『廃棄物対策とリサイクルの推進』について「満足」と感じる住民の割合(%)		47.1		52.0		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	役員会の開催回数(回)	増	補助対象である委員会の活動が活発に行われていることを示す指標。単純に「増」が良いといえない面もあるが、ここでは回数が多いほど活動が行われていると考えた。	計画値		11	16	10
				実績値	11	11	16	
				達成度※自動計算		100.0	100.0	
活動指標	予算執行率(%)		町として補助金の財源を確保しているかの指標	計画値		100.0	100.0	100.0
				実績値	100.0	100.0	100.0	
				達成度※自動計算		計測不能	計測不能	計測不能

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度	基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A) 事業費(円)	300,000	300,000	285,000	285,000
(B) 概算職員数(人)	0.010	0.010	0.010	0.010
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	83,000	83,000	83,000	83,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	383,000	383,000	368,000	368,000
単位当たりコスト※自動計算	34,818.2	34,818.2	23,000.0	
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源※自動計算	383,000	383,000	368,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か 必需性 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか	高 高	A
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している 基準年度と比較して成果が向上している	○ ○	A
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている(判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い E 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い F 費用が増加し、成果も低下している	向上率 成果 145.45% 縮減率 費用 96.08%	A
総合評価 ※自動判定		良好に実施できている	

5. 特記事項

補助金として支出すべきか検討する必要がある。

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由	念書に基づいて補助を実行しているものであり、改善・廃止は事業に支障をきたす恐れがあり、他の同様施設が設置されている地域にも影響が懸念される。		
今後の方向性	同様の施設を有する他地域も考慮した総合的な方針決定が必要になる。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のとおり		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

引き続き補助は継続するが、委員会の運営等について坂本区と協議すると共に、本町において同様の趣旨で補助を行っているものとの整合性を図る。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃止
理由・改善方針	平成23年度決算審査における監査委員からの意見を踏まえるなど、委員会としての活動実態を把握し、補助金の在り方を見直すものとする。		